

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	2
事業名	介護保険特別会計繰出金	会計	款	項	目
		一般	3	1	2
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	健康長寿課		
施策	3-3 高齢者福祉の推進	係名	高齢福祉係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の高齢者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	高齢者がいつまでも元気でいきいきとした生活を続けることができる。
事業内容	配食サービス事業・・・ひとり暮らし高齢者等の家庭に昼食弁当を配達すると共に、安否確認を行う。 介護保険料徴収事務・・・介護保険料の納付書、督促状、催告書の発送。 家族介護支援事業・・・介護に携わる方に一時的に介護の場から離れる機会を作ることで身体的及び精神的負担を軽減する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
指標	1	65歳以上要介護認定率	11.1	11.3		%	→	12.48	
	2	健康寿命の年齢(男性)	81.6	80.8		歳	↑	79.9	
	3	健康寿命の年齢(女性)	84.4	84.9		歳	↑	83.2	
	4	地域ボランティアポイント制度登録者数	89	173		人	↑	130	
	5								
			令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B			278,003		284,900		304,586		
財源内訳	直接事業費A		265,793		267,098		279,770		
	うち一般財源		265,793		267,098		279,770		
人件費(千円) B			12,210		17,802		24,816		
内訳	一般職員(人・千円)		1.85	12210	2.67	17622	3.61	23,826	
	臨時職員(人・千円)		0	0	0.1	180	0.55	990	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、計画的に事業を推進する。配食サービスについては、引き続き、必要性、対象者など社会情勢に応じた見直しの検討が必要である。	③取組の課題	団塊の世代が75歳以上となる2025年問題に加え、団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年も見据えた取り組みが必要となる。
②R4年度に実施した取り組み	令和3年度から5年度を計画期間とする高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、事業を推進した。	④今後の改善計画	高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、計画的に事業を推進する。総合事業、配食サービスなどについては、引き続き、必要性、対象者など社会情勢に応じた見直しの検討が必要である。